

第8回 南河内在宅医療を考える会

南河内在宅医療を考える会では、地域の医療・介護・福祉がよりスムーズに連携を行えるための勉強会を開催しております。安心して暮らせる地域を医療や介護に携わる様々な職種の方々と同じ方向を向いて構築していくことが私たちの目標です。

日時：平成28年5月21日（土曜日）17:00～19:00

場所：藤井寺市立市民総合会館 別館 中ホール

藤井寺市北岡1-2-3 TEL：072-939-7020

参加費：500円

この研修会は、公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団の助成を受けています
また、日本医師会生涯教育制度の単位取得予定です

主催：南河内在宅医療を考える会

裏面の参加申込書にてお申し込み下さい

今回の講師の先生は・・・

岡田晋吾 先生

函館市 北美原クリニック 理事長



在宅医療と医療連携～楽しい在宅医療を～

かかりつけ医機能が重要視される中、在宅・福祉スタッフとの連携や地域連携パス、ICTをうまく活用し、楽しい在宅医療を実践されている岡田晋吾先生をお招きし、ご講演を賜る運びとなりました。

岡田先生のお話は、どの職種にも刺激を与えてくださり、とても元気になります。地域包括ケアシステムの構築実践を行うためのヒントを頂き、私たちの地域をより安心な街となるようにみんなで考えていきましょう。

講演内容（岡田先生講演抄録より）

地域連携は診療所にとっても、病院にとっても患者にとっても負担が少ないことが必要ですが、複雑な連携システムだとそれぞれに負担になっていることがあります。かかりつけ医機能を果たすための連携を負担なく行うためには①地域連携パスの活用、②在宅・福祉スタッフとの連携、③ICTの利用が今後重要になってくると考えています。疾患ごとの連携づくりには地域連携パスは有意義であり、地域連携パスの会議に出席することで最新の診断や治療法を知ることができ、地域の専門医や認定看護師などと連携しやすくなっています（中略）。

著書紹介

地域医療連携・多職種連携（中山書店）

創がわかれば誰でもできる褥瘡ケアオールカラー（照林社）

がん診療の地域連携と患者サポート（医学書院）

地域連携パス作成術・活用術（医学書院）

在宅栄養管理のプロになる（医学と看護社）

PEG（胃瘻）ケアの最新技術（照林社）など



FAX:072-955-0904

第8回 南河内在宅医療を考える会

参加申込書

誠にお手数ですが、下記事項を記載のうえFAXをお願い申し上げます

| お名前 | ご所属 | 職種 | 連絡先 (電話またはメールアドレス) |
|-----|-----|----|-----------------------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

会場に人数制限がありますので、お早めにお申し込みください。

申し込み締め切り:平成28年5月7日

主催 : 南河内在宅医療を考える会
助成 : 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団
事務局 : 数尾診療所 数尾 展